

閉鎖中:2024年7月頃に受付予定

閉鎖中:2024年7月頃に受付予定

C G Q 🗗 https://w	www.sasappa.co.jp/jsht/login/kaishi-mokuji/	(3) A^N ≤	; CD £≞	÷						
特定非営利活動法人 病理技術研究会 Japanese Society of Histopathologic Technology										
HOME 研究会につい	ヽて プログラム 演題募算	ミレン しょうしん しょうしん しんしょう しんしょ しんしょ	9 会員	专用						
②「Ctrl+F」を押すとコマンドが表示される										
入会案内	ABTH BAR	MM @ MM (28	& R. &	R						
会員専用	云貝等用									
情報ひろば	会誌総目次									
お問い合わせ・ご意見	雨理技術86巻2号									
	カラーページ									
	Hematoxylin-Eosin(HE)染色の精度管理事業	報告	石井 <mark>脩平・</mark> 他	34						
■ 会員界用	特集 遺伝子検査におけるホルマリン固定の実際									
 会誌検索(会誌総目次) 会誌PDF 	当院におけるホルマリン固定組織による遺伝子検	資について	金子伸行	48						
▶ バックナンバー絵壺方法	田奈時における検体面扱いの面と知み 1		迎未 庫嫌	54						



🕥 病理技術78巻1号

カラーページ

Q	Ċ	https://ww	w.sasappa.co.jp	o/jsht/login/kaishi-moku	ji/	දා	AN Z	3 (ר] ל≡	Ē	~~
			呼吸器新WH	PAM	1/18	^ ~	γ	< _{竹中}	明美	26	
			病理形態学力	次の項目も見つかりました:	gam g	gram pa	<u>pas</u> pna	羽野	寛	32	
		(雨理技術78巻	2号							
			カラーページ			7					
		(4)1 3		数学生はる際に便利なループ	1,259 × 1	6		加茂	隆春	56	
			腎生検組織標	本の特殊性について				橋口	明典	56	
			一般演題								
			当院における	k-ras遺伝子変異の検出状況				池田	聡	57	
			全自動連続薄 ――病理検査 ついて――	切装置の検討 を取りまく環境と, 自動化の)必要性, お	うよび今後の同	可能性に	小澤	英樹・他	61	
			<工夫コーナー	>							
			組織切片を少	数染色する際に便利な八一丁	フパスケット	~		加茂	隆春	68	
			<特集コーナー	> PAM (Periodic Acid	Methenam	nine silver)	染色				
			腎生検組織標	本の特殊性について				橋口	明典	71	



特集コーナー PAM(Periodic Acid Methenamine silver)染色

腎生検組織標本の特殊性について

橋口 明典

序 言

慣れない施設で、ひとたび腎生検検体が提出されると、 通常の業務では行わない検体操作を要求されることが多 く、戸惑う技師が多い. 検体の絶対数も少なく、自身が 作製した切片が、診断にどのように関与し、影響してい くのかもよく分からないであろう.

一方,腎生検診断は病理形態学の究極を追求している 分野の一つといっても過言ではない。病理学の基礎が形 態学であり、標本作製を病理技術の基本とするならば、 実は、腎生検組織標本というのは、その作製能力が、否 が応でも試されるだけで、手技自体は何ら特殊ではない。

化である.

軽度のメサンギウム基質の増加, 軽度の細胞増多. 尿細管の萎縮, 間質の線維化を, <u>約 5-10%</u>の領 域でみる.

一部, Tamm-Horsfall 蛋白の間質への漏出と炎症 性細胞浸潤.

小葉間動脈の一部内膜肥厚を認める.

免疫蛍光所見

IgG+, mesangial; IgM+, meangial; IgA++, mesangial; C3+, mesangial; C4-; C1q-; Fibrinogen-; κ+, mesangial; λ+, mesangial 電顕所見

1井ンゼム1 パニノ井ンゼム11古量了家庙沖